

科目名	社会思想史特殊研究	担当者	イシハマ 石浜 ヒロミチ 弘道	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	--------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	千変万化する現代社会において、ともすれば自己のアイデンティティを失いがちな私たちの日々の営みの中で、そうした激変する社会の構造を分析し、そのあるべき社会の姿を探求することは喫緊の課題であろう。そしてそれは古来から哲学がなしてきたことである。哲学はその時代時代の問題状況と取り組みつつ、人類の普遍的な在るべき姿を示してきたのであった。そこで今日私たちにとって何が現代社会の根本的な問題なのか、どうしたらそれを解決することができるのかを現代哲学史の知的営みの中から考えたいと思う。		
到達目標	現代哲学のそれぞれの潮流は何を問題とし、それに対してどのようなアプローチをすることで、その解決を考えたのかを理解するとともに、現代の社会的な諸問題に焦点を当て、現代社会に生きる私たち自身の問題でもあるという視点よりその解決に向かって考察すること。		
学修方法	学修の方法は、提示されたテキストを丹念に読んで、その内容を味読することが基本であるが、さらに現代の哲学者たちのテキストにも触れ、問題点をさらに深く考察することが必要である。なお、哲学に慣れていない方は、レポート作成に際して、基本的な哲学の概説書をまず読むことが必要である（例えば石浜弘道編『哲学』弘文堂など）。		
スケジュール	前期：教材1のレポート課題(1)の草稿は7月末、課題(2)は8月末を目処に提出する。取り上げる題材については、記載の参考書等を利用し内容を正確に理解することが望ましい。いずれの課題も9月中旬までに最終稿を提出する。 後期：教材2のレポート課題(1)の草稿は11月中旬、課題(2)は12月中旬を目処に提出する。取り上げる題材については、記載の参考書等を利用し内容を正確に理解することが望ましい。いずれの課題も平成30年1月上旬までに最終稿を提出する。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	60%	レポートが課題通りに的確に書かれているか。
	平常評価	40%	再提出レポートへのコメントを正確に理解し、修正しているか。
履修者への要望	レポートの課題に関連したテキストの部分のみを読むのではなく、テキスト全体を通してじっくりと読み理解することが望ましい。また現代哲学だけではなく古代から近代までの哲学史の流れも理解することは課題の一層の理解のために必要である。そのための参考書としては、波多野精一『西洋哲学史要』未知谷が適切である。		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 小坂国継，他編 教材名： 『概説 現代の哲学・思想』（ミネルヴァ書房，2012年） ISBN978-4-623-06110-5 C3010 3500円+税
	現代思想の種々の潮流を学ぶことを通して，私たちの社会が何を問題とし，どのように考察し，さらにその解決に向かって考えたが概説的に述べられている。その思想を通して，今日の混迷する社会が必要としている哲学の働きに迫ることができ，さらにそこから現代社会に不可欠な哲学の意義を再発見することができる。
参考図書	ニーチェ『道徳の系譜』（ちくま学芸文庫），ヤスパース『哲学入門』（新潮文庫） ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』（岩波文庫），ジェイムス『プラグマティズム』（岩波文庫） フッサール「ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学，第1部，第2部」（中公文庫） これらの原典が難しい場合は，清水書院<人と思想シリーズ>の各哲学者の入門書が適切。
履修上のポイント	テキスト全体を読み通してから課題の部分を精読し，さらにそこで取り上げられている哲学者の原典（上記参考図書）に触れることによって，課題を深く理解することが望ましい。
レポート課題1	テキストの第1部から自分が最も興味があると思う章を選び，要約しなさい。 留意点： 選んだ章全体を網羅するように要約すること
レポート課題2	テキストの第1部から自分が最も興味があると思う章を選び，要約しなさい（ただし課題1と異なるもの）。 留意点： 選んだ章全体を網羅するように要約すること

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 小坂国継，他編 教材名： 『概説 現代の哲学・思想』（ミネルヴァ書房，2012年） ISBN978-4-623-06110-5 C3010 3500円+税
	現代思想の種々の潮流を学ぶことを通して，私たちの社会が何を問題とし，どのように考察し，さらにその解決に向かって考えたが概説的に述べられている。その思想を通して，今日の混迷する社会が必要としている哲学の働きに迫ることができ，さらにそこから現代社会に不可欠な哲学の意義を再発見することができる。
参考図書	ロールズ『正義論』紀伊國屋書店，小松奈美子『医療倫理の扉』北樹出版，中谷常二『ビジネス倫理学』晃洋書房，小坂国継『環境倫理学ノート』ミネルヴァ書房，高橋準『ジェンダー学への道案内』北樹出版，金杉武司『心の哲学入門』勁草書房，渡辺学『ユングにおける心と体験世界』春秋社，坂本百大『科学哲学』北樹出版
履修上のポイント	テキスト全体を読み通してから課題の部分を精読し，さらにそこで取り上げられている思想家の原典（上記参考図書）に触れることによって，課題を深く理解することが望ましい。
レポート課題1	テキストの第2部から自分が最も興味があると思う章を選び，要約しなさい。 留意点： 選んだ章全体を網羅するように要約すること
レポート課題2	テキストの第2部から自分が最も興味があると思う章を選び，要約しなさい（ただし課題1と異なるもの）。 留意点： 選んだ章全体を網羅するように要約すること